

【申請書記入例・市民税非課税世帯用】

申請書をお間違えにならないよう、ご確認ください。
市民税非課税世帯（生活保護受給世帯は除く。）の方はこの申請書をお使いください。

* 高校1年生で入学支度金を申請する場合の記入例

（市民税非課税世帯 入学支度金用）
※ 生活保護を受給されている方は様式が異なります。

令和6年度 京都市高校進学・修学支援金 支給申請書

令和6年 ○月 ×日

住所（〒 603 - ××××）
京都市北区△△町 9-99
創生マンション701号室

フリガナ キョウト タロウ
氏名（高校生本人）
京都 太郎

申請者 京都市長

申請学校入学以前の修学状況 × × 中 学校 令和3年 4月 入学～令和6年 3月

学校名 **おいけ学園高等学校** 科目名 **普通科 普通コース** 学年 **1**

学校区分 1 国公立 2 私立 種類 1 全日制 2 定時制 3 通信制 4 高専 5 専修

修学期間（予定） **令和6年 4月～令和9年 3月（3か年）** 留年の有無 有（ 年） 無

世帯区分 2 母子世帯 3 父子世帯 4 児童世帯 5 障害者世帯 7 長期療養者世帯 8 その他世帯

続柄	氏名	生年月日	職業・学年等	年間所得額
本人	京都 太郎	H20.6.23	高校1年生	0円
父	京都 一郎	S51.1.1	会社員	120万円
母	京都 花子	S52.2.2	パート	30万円
姉	京都 夢子	H15.5.3	大学生	0円

生活保護の受給状況 有（停止含む） 無

申請理由 **令和6年 4月に購入する（した）制服、教科書等の**

同種の奨学金の申請状況 その他同種の奨学金 ⇒ 名称（**同種の奨学金を申請した場合は名称を記入してください。**
（例）同種の奨学金
・京都府の交通遺児奨学金
・京都府の母子家庭奨学金
・京都府の高校生給付型奨学金 など

振込先口座（通帳又はキャッシュカードの写しを添付してください）
振込先 **京都みらい** 口座番号 **0987654** フリガナ **キョウト**
支店 **市役所前** 口座名義 **京都**

京都市高校修学支援奨学金給付要綱第6条第1項に係る調査（世帯状況、同種の奨学金受給の有無）について同意します。
世帯員全員（住民票が別であるが同居している方、単身赴任等で別居しているが高校生の生計を共にしている方）の氏名を別で記入してください。

2月中に進学先の高校が確定した方は必要書類を提出することで前倒しでの支給を希望できます。前倒し支給を希望される方は必ずチェックをしてください。

前倒し支給の希望 希望する 希望される方は追加で以下の書類を提出してください。
○進学先の学校が分かる書類の写し（合格通知書等）
○入学金の支払いが分かる書類の写し（振込明細等）※私立進学の場合は、前倒し支給を希望する方は必ず記入してください。

（記入上の注意）
1 ※印の欄には、記入しないでください。
2 振込先口座については、原則として申請者、世帯主又は保護者が名義人の口座を記入してください。
3 申請内容が事実と異なる場合は、支給決定を取り消し、既に支給した分について返還を求めることがあります。

決定通知書などをお送りする際の宛先となりますので、番地や部屋番号まで、確実に記入してください。

対象となる高校生等のお名前を記入してください。

令和6年度の修学状況を記入してください。「種類」は、裏面の基準に従って○印をつけてください。※定時制の方は、昼間・夜間のどちらかにも○をつけてください。

裏面の世帯区分基準を参考に、該当する世帯区分に○印をつけてください。

対象となる高校生等を基準として、世帯員全員を記入してください。

保護停止の方は「有」となります。※「有」の場合、申請書はこの様式ではありません。

お間違えのないよう、必ず口座番号のわかるもの（通帳の写し等）を同封してください。

同種の奨学金を申請した場合は名称を記入してください。（例）同種の奨学金
・京都府の交通遺児奨学金
・京都府の母子家庭奨学金
・京都府の高校生給付型奨学金 など

世帯員全員の記名をいただくことで、申請に必要な調査を行います。※ただし、調査において確認できない場合、別途書類の提出が必要になることがあります。

前倒し支給を希望される方は追加で書類が必要です。また、私立高校に進学される方は入学金の支払いが分かる書類の写しを提出してください。

※ **太字部分について、もれなく丁寧に記入してください。**
⇒ リーフレットの「提出書類についての注意事項」についても、必ずご確認ください！

表面の学校の種類と世帯区分は以下を参考にして記入してください。

<該当する学校の種類>

学校の種類は、以下の基準に従って○印をつけてください。

- 1 全日制 → 全日制
- 2 定時制 → 夜間定時制、昼間定時制
- 3 通信制 → 通信制
- 4 高専 → 高等専門学校
- 5 専修 → 専修学校の高等課程（全日制・定時制どちらも含む）

<該当する世帯区分>

世帯の区分は、以下の基準に従って○印をつけてください。

2 母子世帯

〔配偶者のない母と20歳未満のお子さま（「母子」という。）のみの世帯又は母子と65歳以上の方のみで構成している世帯〕

3 父子世帯

〔配偶者のない父と20歳未満のお子さま（「父子」という。）のみの世帯又は父子と65歳以上の方のみで構成している世帯〕

4 児童世帯

〔父母のない20歳未満のお子さま（「児童」という。）のみの世帯又は児童とその児童を扶養している65歳以上の方のみで構成している世帯〕

5 障害者世帯

〔父や母が身体障害者手帳3級以上等の世帯（父母又はその一方が、身体障害者福祉法施行規則（昭和25年厚生省令第15号）別表第5号に定める身体障害者障害程度等級表の第3級以上又は国民年金法施行令（昭和34年政令第184号）別表の1・2級に該当する程度の障害者である世帯）〕

具体的な基準は、以下のとおりになります。

- 身体障害者手帳・・・3級以上
- 精神障害者保健福祉手帳・・・2級以上
- 療育手帳・・・A又は、Bかつ障害年金2級以上を受給されている方

7 長期療養者世帯

〔父や母が6か月以上入院等している世帯〕

具体的な基準は、以下のとおりになります。

- ・入院又は寝たきり状態のために医師の往診を受けている状態が現に6か月以上継続している場合又は事由発生(初診等)から6か月以上継続すると認められる場合
- ・6か月以上にわたり、傷病のため就労できず通院治療を受けている場合又は傷病のために就労できない状態が事由発生(初診等)から6か月以上継続すると認められる場合

8 その他世帯

〔その他上記以外の世帯〕

上記世帯区分のうち、京都府制度の対象となる母子世帯、父子世帯、児童世帯、障害者世帯、長期療養者世帯の方については、入学支度金の全額を京都府からの補助金を受けて支給します。その他世帯の方については、京都市から全額を支給します。
京都府制度の対象となる世帯の把握のために必要となりますので、世帯区分を記入していただくようお願いいたします。